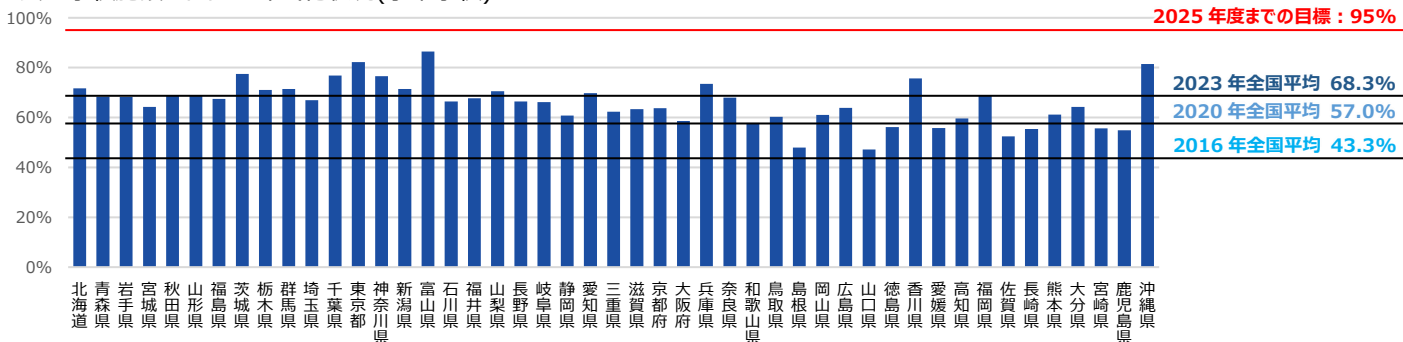




子どもたちが安心して学べる環境、災害対策の拠点として学校のトイレ改善が急務です。

■ 公立学校施設のトイレの洋式化状況(小中学校)



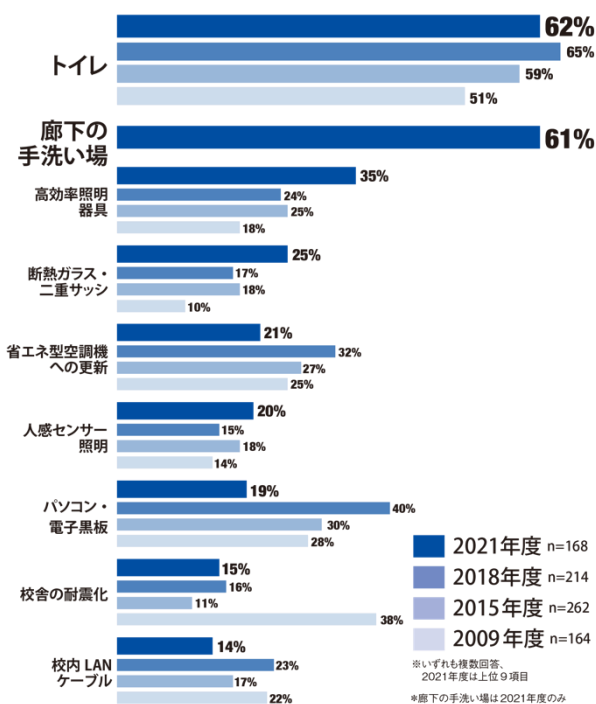
出典：文部科学省「公立学校施設のトイレの状況について」(2023.9.1)より作成

調査報告

1 全国公立小中学校教職員アンケート

児童・生徒のために施設改善が必要と思われる場所に関する質問では、「トイレ」が2009年度以降の調査結果すべてにおいて唯一過半数を占めています。

Q 学校で、児童・生徒のために施設改善が必要と思われる場所はどこですか？



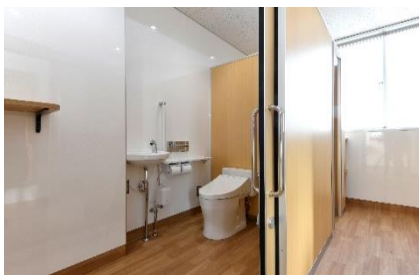
出典：学校のトイレ研究会 全国公立小中学校教職員アンケート調査より
※詳細を確認されたい方は学校のトイレ研究会発行「学校トイレの挑戦！」25号をご覧ください。

学校トイレの最新現場事例



金沢市立犀桜(さいおう)小学校

新校舎のトイレは、清掃性と衛生面を考慮して全洋式化とし、温水洗浄便座を設置。災害対応と多様性配慮の一環で設置された校舎棟のバリアフリートイレには、オストメイトに配慮した設備や、手すりが備えられています。



笠松町立笠松中学校

改修を機に床の乾式化と全洋式化を実現し、温水洗浄便座を採用。校舎棟の男女別トイレには、車いすの人も利用しやすいよう、ゆったりとしたスペースを確保したバリアフリー配慮ブースも設置されています。

※詳細を確認されたい方は TOTO 建築家専門サイト「COM-ET」(<https://www.com-et.com/jp/>) の施工事例をご覧ください。

学校のトイレ研究会

学校のトイレ研究会は、学校のよりよいトイレ環境づくりをめざして、トイレ関連企業が集結し、1996年に発足しました。以来、各社の情報力、技術力を活かしながら、調査・研究・啓発活動を継続しています。

研究誌・ホームページ

学校のトイレづくりに役立つ、さまざまな情報を掲載しています。

<https://school-toilet.jp>

学校トイレ Q で検索

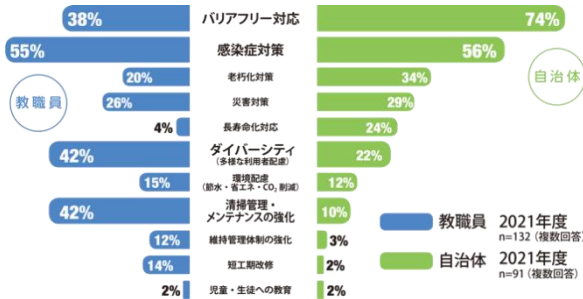


学校施設のバリアフリー化加速に向けて 文部科学省が2025年度までの整備目標を発表！

2020年5月、バリアフリー法及び同法施行令の一部改正により、バリアフリー基準の適合義務の対象となる特別特定建築物として、公立の小中学校等が新たに位置づけられました。学校施設のバリアフリー化をより一層推進していく必要性が高まっています。

調査報告 2 最新全国公立小中学校教職員アンケート

Q 今後、学校トイレの整備を考える上で、特に重要だと思うことは何ですか？



出典：学校のトイレ研究会 全国公立小中学校教職員アンケート調査より
※詳細を確認されたい方は学校のトイレ研究会発行「学校のトイレの挑戦！」25号をご覧ください。

バリアフリー化のための国庫補助制度について

学校施設環境改善交付金のメニューの一つに、障がいのある児童・生徒や、学校施設を利用する高齢者などに配慮し、エレベーターなどを設置する場合に対応するバリアフリー化のための補助制度があります。2021年度より、この補助率が1/3から1/2に引き上げとなりました。

バリアフリー化のための国庫補助制度の概要

■負担(算定)割合

新増築：1/2 改築：1/3 大規模改築：1/2

※割合はいずれも原則。 ※義務教育諸学校の新増築には公立学校施設整備費国庫負担金が適用され、その他については学校施設環境改善交付金が適用されます。

※保有面積が2,000㎡未満の学校および幼稚園の大規模改築については算定割合が1/3となります。

■対象校

公立の小中学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校、幼稚園

■工事内容

〔新増改築事業〕バリアフリーを踏まえた施設整備 〔大規模改築事業〕エレベーター、自動ドア、スロープ、バリアフリートイレなどを設置する工事／小中学校などの余裕教室、または普通教室を特別支援学級に模様替える工事など

出典：文部科学省「公立学校施設のバリアフリー化に対する国の支援策について」をもとに作成。

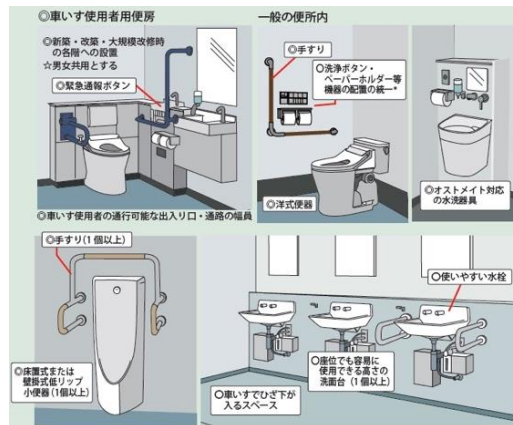
文部科学省 学校施設のバリアフリー化整備目標

対象	2022年度(現状)		2025年度末までの整備目標
	校舎	屋内運動場(体育館)	
バリアフリートイレ	70.4%	41.9%	総学校数の避難所指定のすべての学校に整備 校舎：約93% 屋内運動場：約98%に相当
スロープなどによる段差解消	82.2%	77.9%	すべての学校に整備
エレベーター 1階建ての建物のみ保有する学校を含む	61.1%	62.1%	すべての学校に整備
	29.0%	70.5%	要配慮児童生徒らが在籍するすべての学校に整備 総学校数の校舎：約41% 屋内運動場：約76%に相当

車いす使用者トイレの整備について、文部科学省は2025年度までに避難所指定のすべての学校に整備することを目標としています。

出典：文部科学省「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果」(2022年12月)を一部加工

国庫補助対象となるトイレまわりのバリアフリー化工事例



◎重要 ○望ましい ☆有効

- ◎滑りやすい床仕上げ
- ◎出入り口ならびに通路の段差をなくす
- ◎円滑に使用できる出入り口戸
- ☆便所の戸に使用中か否かの表示装置
- ☆点字などによる案内表示
- ☆光警報装置
- *公共トイレ操作系 JIS (JIS S 0026)

*「学校施設バリアフリー化推進指針」(「誰もが利用できる便所」、第2章-4-5)をもとに学校のトイレ研究会で作成。
※以上の各項目については、学校施設環境改善交付金のバリアフリー化に関する国庫補助の対象となる工事ですが、各項目単体で実施する場合、補助加減額などの補助要件に合致せず、補助対象外となる場合も考えられます。

バリアフリー化は学校施設環境改善交付金の一要素

学校施設環境改善交付金では、「トイレ改修」「空調設置」「バリアフリー化」について、それぞれ個別の補助メニューが用意されています。この三つの事業が混在する場合、学校設置者は一つの工事で発注することが多く、どの補助メニューで申請するかについては、整備内容に従って各自自治体で個別に判断しています。

なお、バリアフリー化に関する公立学校既存施設の対応については、学校施設環境改善交付金の補助事業の一つという位置づけです。別枠の補助金として実施されるものではありません。

お問合せは担当者まで

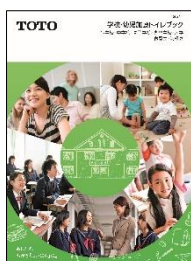
◆TOTOの取り組みについて

非接触ニーズや節水便器開発秘話など掲載
PR TIMES STORY (<https://prtimes.jp/story>)



◆商品選定に困ったら

学校トイレに求められていることや
おすすめ商品を紹介



学校・幼児施設
トイレブック
No.202

名刺